

# 2018年度 卒業時アンケート集計結果

## 人間社会学部

JASMINE-Navi版

この度は、「卒業時アンケート」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。  
アンケートの集計ができましたのでご報告させていただきます。

このアンケートでは、卒業予定者を対象に、大学、学部、学科、それぞれの学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)について、「身についたと思いますか」という意識調査をしております。同時に、「日本女子大学で学んで良かったと思いますか?」、「学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか?」を伺いました。

なお、大学、学部、学科のディプロマ・ポリシー(DP)につきましては、その回答の平均値を経年比較しております。文言の変更がある項目については、内容の似ているものはそのまま比較を行っておりますが、新規のDPIについては、比較から外している項目もあります。また、内容に変更・結合・分離等がある項目のうち、比較が可能と判断した項目については、注釈を付して集計いたしました。

※JASMINE-Naviでの閲覧は、3月20日までとなります。本学で学ばれた4年間のまとめとしてご覧ください。

※本件につきまして、ご意見、ご質問がございましたら、大学改革推進室までお願いいたします。

末筆ではございますが、卒業される皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

大学改革推進室IR推進室  
[infosen@atlas.jwu.ac.jp](mailto:infosen@atlas.jwu.ac.jp)

### 目次

1. 人間社会学部 (全体)	2
2. 人間社会学部 現代社会学科	4
3. 人間社会学部 社会福祉学科	6
4. 人間社会学部 教育学科	8
5. 人間社会学部 心理学科	10
6. 人間社会学部 文化学科	12

### <2018年度回答率>

学部	学科	専攻	卒業生数	回答数	回答率
家政	児童		105	101	96.2%
	食物	食物学	37	37	100.0%
		管理栄養士	53	53	100.0%
	住居	居住環境デザイン	51	35	68.6%
		建築デザイン	43	23	53.5%
	被服		91	83	91.2%
	家政経済		84	83	98.8%
計		464	415	89.4%	
文	日本文		119	117	98.3%
	英文		140	131	93.6%
	史		108	99	91.7%
	計		367	347	94.6%
人間社会	現代社会		117	118	100.9%
	社会福祉		92	91	98.9%
	教育		97	94	96.9%
	心理		76	77	101.3%
	文化		127	82	64.6%
	計		509	462	90.8%
理	数物科		88	81	92.0%
	物質生物科		92	91	98.9%
	計		180	172	95.6%
学部合計 (通学課程全体)			1,520	1,396	91.8%

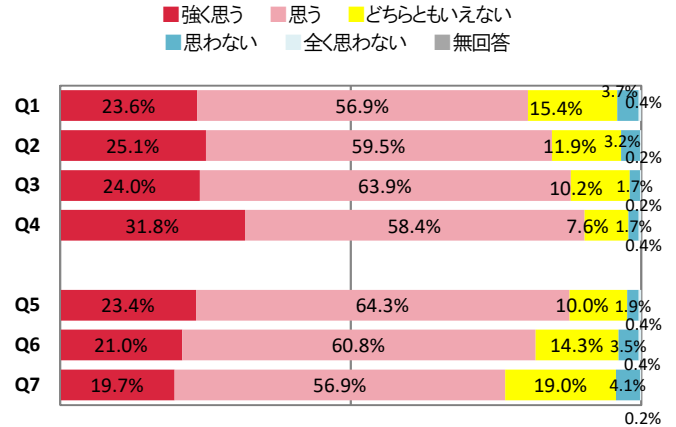
# 1. 人間社会学部 (全体)

(回収率:90.8%)

＜身についたと思いますか＞

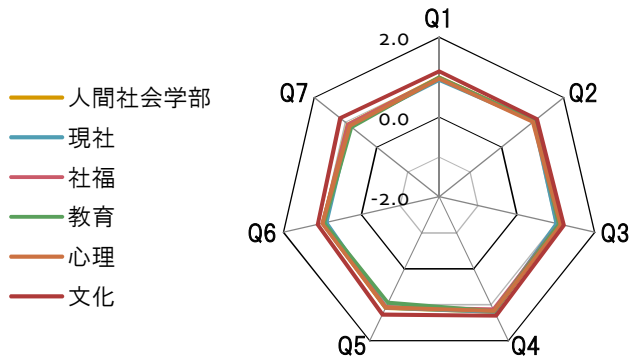
◆ 日本女子大学の学位授与方針(DP)	
Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q3	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q4	他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
◆ 人間社会学部の学位授与方針(DP)	
Q5	人間と社会、及び両者の関わりについて様々な視点から考察することができる。
Q6	人々と実践的に関わり合いながら、専門的知識を踏まえてものごとを見ることことができる。
Q7	地域社会の問題から世界の問題まで、広い視野に立って考察し、具体的な解決を引きだすことことができる。

2018年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7
強く思う	109	116	111	147	108	97	91
思う	263	275	295	270	297	281	263
どちらともいえない	71	55	47	35	46	66	88
思わない	17	15	8	8	9	16	19
全く思わない	2	1	1	2	2	2	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0



2018年度人間社会学部平均

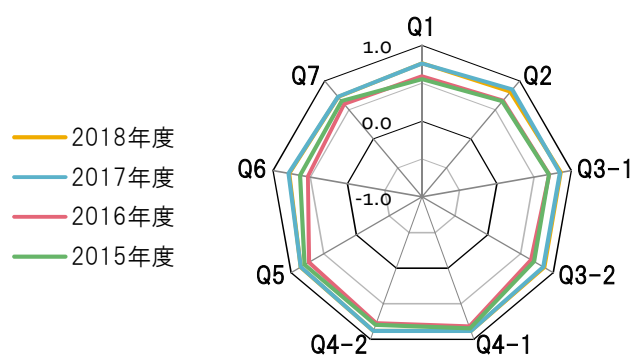
※「強く思う」を2点、「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」を-1点、「全く思わない」を-2点とした平均値(「無回答」は集計から除外)



2015～2018年度人間社会学部平均

※「強く思う」「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」「全く思わない」を-1点とした平均値(「無回答」は集計から除外)

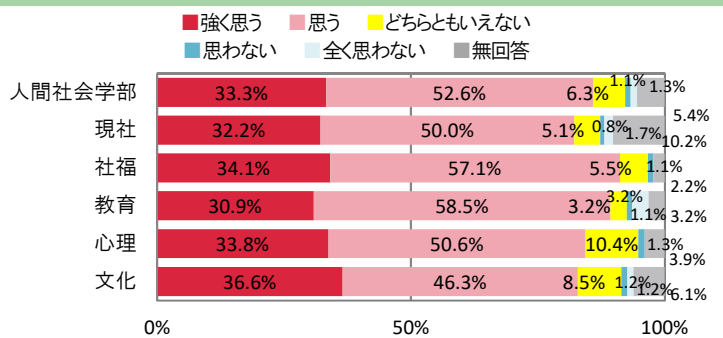
※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢



グラフ	2016年度まで	Q	2017年度より
Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。	Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。	Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q3-1	専門的知識と教養教育をバランスよく学び、豊かな知性と感性を身につける。	Q3	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q3-2	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。	Q4	他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
Q4-1	他者に対する共感の気持ちをもつことことができる。	Q5	人間と社会、及び両者の関わりについて様々な視点から考察することができる。
Q4-2	まわりの人びとと円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。	Q6	人々と実践的に関わり合いながら、専門的知識を踏まえてものごとを見ることことができる。
Q5	人間と社会、及び両者の関わりについて様々な視点から考察することができる。	Q7	地域社会の問題から世界の問題まで、広い視野に立って考察し、具体的な解決を引きだすことことができる。
Q6	人々と実践的に関わり合いながら、専門的知識を踏まえてものごとを見ることことができる。		
Q7	地域社会の問題から世界の問題まで、広い視野に立って考察し、具体的な解決を引きだすことことができる。		

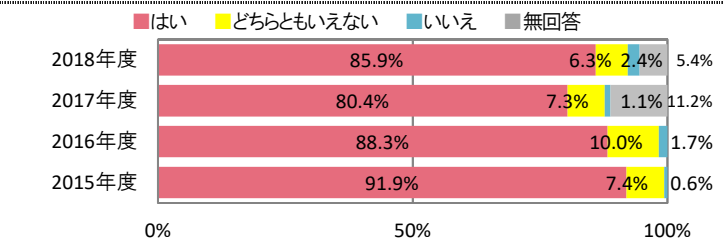
◇日本女子大学で学んで良かったと思えますか？（2013年度から調査している項目）

2018年度	人間社会学部	現社	社福	教育	心理	文化
強く思う	154	38	31	29	26	30
思う	243	59	52	55	39	38
どちらともいえない	29	6	5	3	8	7
思わない	5	1	1	1	1	1
全く思わない	6	2	0	3	0	1
無回答	25	12	2	3	3	5



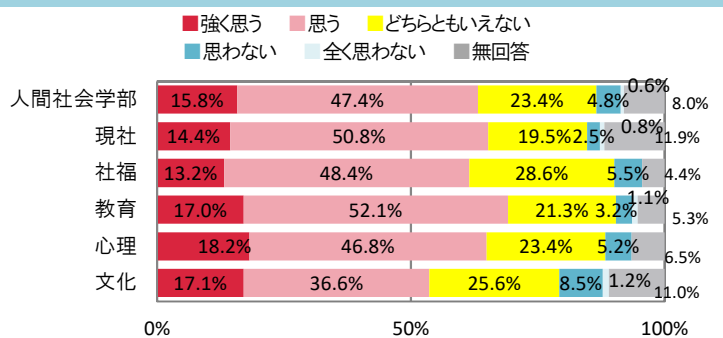
人間社会学部	2018年度	2017	2016	2015	
はい	強く思う	154	142	355	433
	思う	243	211	355	433
どちらともいえない	どちらともいえない	29	32	40	35
	思わない	5	4	7	3
いいえ	全く思わない	6	1	7	3
	無回答	25	49	0	0

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

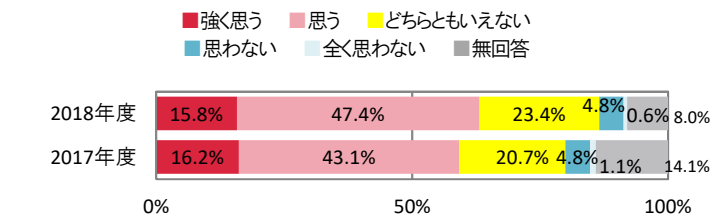


◇学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思えますか？（2017年度からの調査項目）

2018年度	人間社会学部	現社	社福	教育	心理	文化
強く思う	73	17	12	16	14	14
思う	219	60	44	49	36	30
どちらともいえない	108	23	26	20	18	21
思わない	22	3	5	3	4	7
全く思わない	3	1	0	1	0	1
無回答	37	14	4	5	5	9



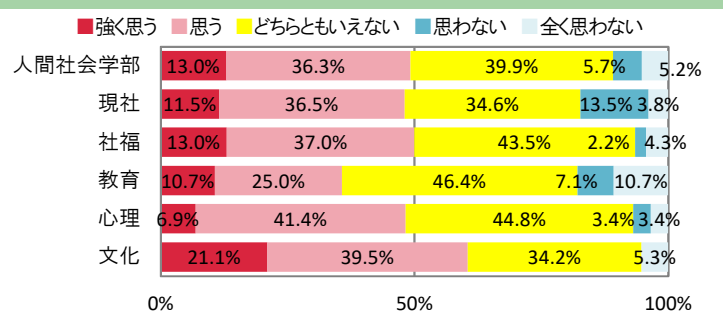
人間社会学部	2018年度	2017年度
強く思う	73	71
思う	219	189
どちらともいえない	108	91
思わない	22	21
全く思わない	3	5
無回答	37	62



※キャリア女性学副専攻修了者のみ回答

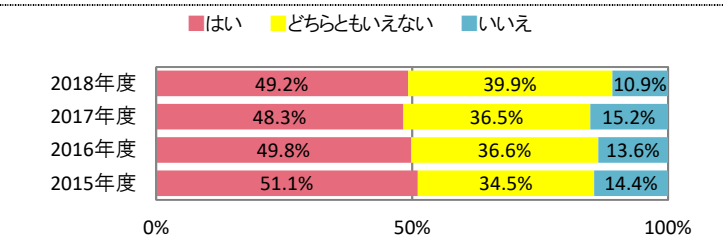
★キャリア女性学副専攻はキャリア設計に役に立ったと思う。

2018年度	人間社会学部	現社	社福	教育	心理	文化
強く思う	25	6	6	3	2	8
思う	70	19	17	7	12	15
どちらともいえない	77	18	20	13	13	13
思わない	11	7	1	2	1	0
全く思わない	10	2	2	3	1	2



人間社会学部	2018年度	2017	2016	2015	
はい	強く思う	25	19	136	170
	思う	70	67	136	170
どちらともいえない	どちらともいえない	77	65	100	115
	思わない	11	15	37	48
いいえ	全く思わない	10	12	37	48

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢



2. 人間社会学部 現代社会学科

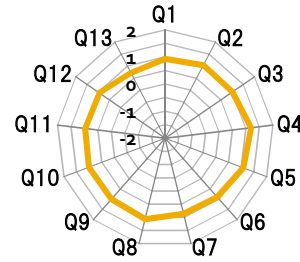
(回収率: 100. 9%)

<身についたと思いますか>

<b>◆ 日本女子大学の学位授与方針(DP)</b>	
Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q3	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q4	他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
<b>◆ 人間社会学部の学位授与方針(DP)</b>	
Q5	人間と社会、及び両者の関わりについて様々な視点から考察することができる。
Q6	人々と実践的に関わり合いながら、専門的知識を踏まえてものごとを見ることことができる。
Q7	地域社会の問題から世界の問題まで、広い視野に立って考察し、具体的な解決を引きだすことができる。
<b>◆ 現代社会学科の学位授与方針(DP)</b>	
Q8	社会学、歴史学、経済学、人類学等の専門諸科学の理論と方法に関する幅広い知見を身に付け、そのうちいずれかを援用して、特定の対象や問題関心を追究することができる。そのことで現代社会の広がりに対する感覚と認識を身に付けている。
Q9	現代社会の諸現象を、客観的視点から分析、思考することができる。またそのことによって解決すべき課題とその方向性を判断できる。
Q10	現代社会の諸問題に強い関心を持ち、それを解決しようとする高い意欲と倫理的態度を有している。
Q11	社会科学的に適切な問題意識から、社会的諸問題を自らの視点で論文やレポートにまとめ、論じることができる。あるいはまた、一定程度の現場調査能力・データ分析能力を修得し、上記の問題を実証的に分析し、論文やレポートにまとめ、論じることができる。
Q12	現代社会の構造を知るため、その中に自己を位置づけ対象化する能力を持ち、社会と自己の関係を表現する力を備え、それによって他者と討議交流することができる。
Q13	日本語及び外国語を運用する能力を持ち、文献・資料を的確かつ批判的に解読することができる。

2018年度現代社会学科平均

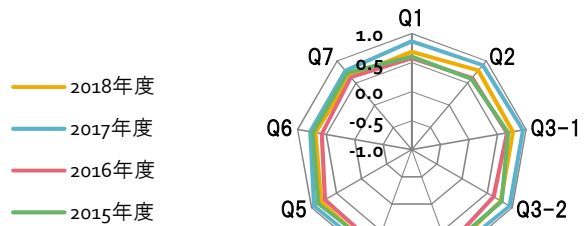
※「強く思う」を2点、「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」を-1点、「全く思わない」を-2点とした平均値（「無回答」は集計から除外）



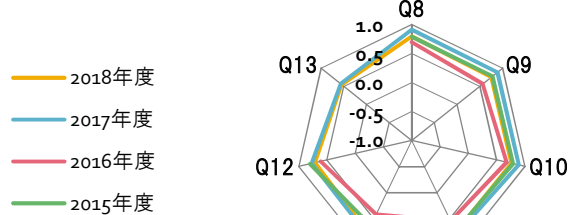
※「強く思う」「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」「全く思わない」を-1点とした平均値（「無回答」は集計から除外）

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

日本女子大学DP(1~4)・人間社会学部DP(5~7)



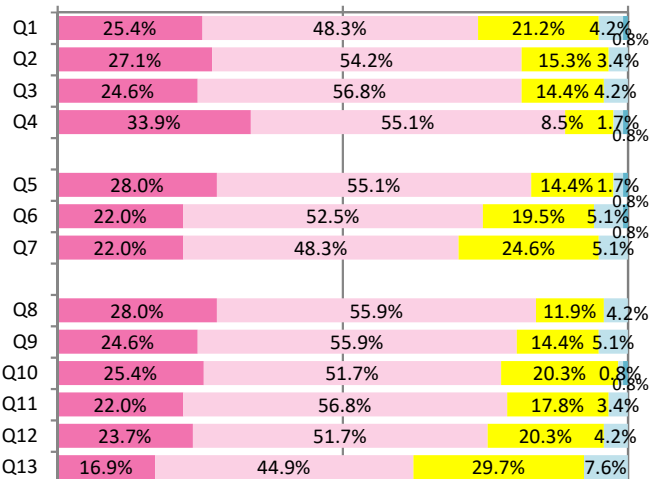
現代社会学科DP(8~13)



(人)

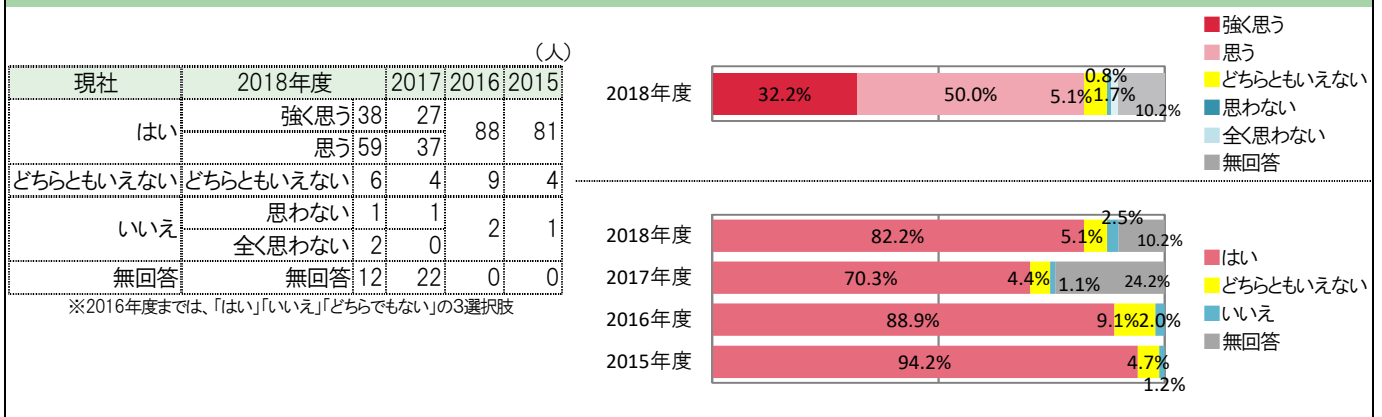
2018年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
強く思う	30	32	29	40	33	26	26	33	29	30	26	28	20
思う	57	64	67	65	65	62	57	66	66	61	67	61	53
どちらともいえない	25	18	17	10	17	23	29	14	17	24	21	24	35
思わない	5	4	5	2	2	6	6	5	6	1	4	5	9
全く思わない	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

■ 強く思う ■ 思う ■ どちらともいえない ■ 思わない ■ 全く思わない ■ 無回答

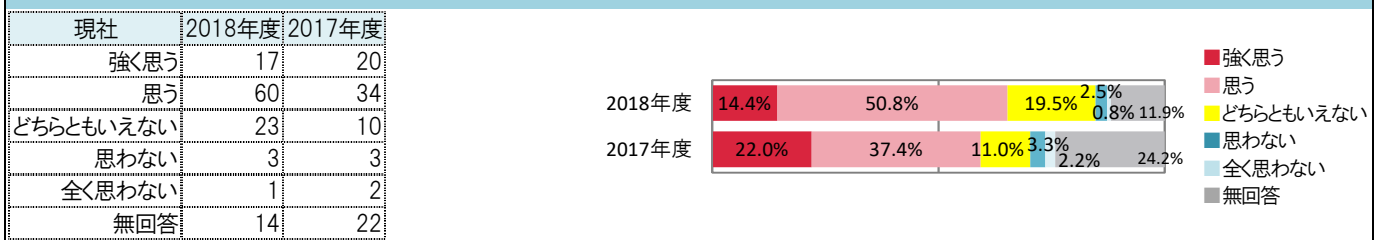


グラフ	2016年度まで	Q	2017年度より
Q8	現代社会の仕組みと動向に関して、社会学、歴史学、経済学、政治学、地理学、人類学などのいずれかひとつの専門に軸足を置いて構造的に理解しており、しかも、その社会理解には学際的な広い視野が必要であることを認識している。	Q8	社会学、歴史学、経済学、人類学等の専門諸科学の理論と方法に関する幅広い知見を身に付け、そのうちいずれかを援用して、特定の対象や問題関心を追究することができる。そのことで現代社会の広がりに対する感覚と認識を身に付けている。
Q9	現在進行形の現代社会の現象を、社会科学的な実証性を持って分析でき、その結果社会の抱える問題状況への客観的な視点に裏打ちされた批判思考を持っている。現代社会の要諦がわかることで、解決すべき問題と解決の方向性を判断できる。	Q9	現代社会の諸現象を、客観的視点から分析、思考することができる。またそのことによって解決すべき課題とその方向性を判断できる。
Q10	現代社会の諸問題に強い関心を持ち、それを解決しようとする能力に裏打ちされた高い意欲を有している。	Q10	現代社会の諸問題に強い関心を持ち、それを解決しようとする高い意欲と倫理的態度を有している。
Q11-1	問題意識の発見からその対象への調査を自らで行う方法を身につけているので、現実社会の実相に迫り、社会的問題の問題解決への思いモチベーションを獲得している。	Q11	社会科学的に適切な問題意識から、社会的諸問題を自らの視点で論文やレポートにまとめ、論じることができる。あるいはまた、一定程度の現場調査能力・データ分析能力を修得し、上記の問題を実証的に分析し、論文やレポートにまとめ、論じることができる。
Q11-2	社会科学的な実証分析能力として、問題意識獲得能力、現場調査能力、データ分析・統合能力を習得している。	Q11	現代社会の構造を知る故に、現代社会の中に生きる自己を位置づける対象化能力、そして社会と自己の関係を表現する力、さらによりによって他者と討議交流する能力を有している。
Q12	現代社会の構造を知る故に、現代社会の中に生きる自己を位置づける対象化能力、そして社会と自己の関係を表現する力、さらによりによって他者と討議交流する能力を有している。	Q12	現代社会の構造を知るため、その中に自己を位置づけ対象化する能力を持ち、社会と自己の関係を表現する力を備え、それによって他者と討議交流することができる。
Q13		Q13	日本語及び外国語を運用する能力を持ち、文献・資料を的確かつ批判的に解読することができる。

◇ 日本女子大学で学んで良かったと思いますか？

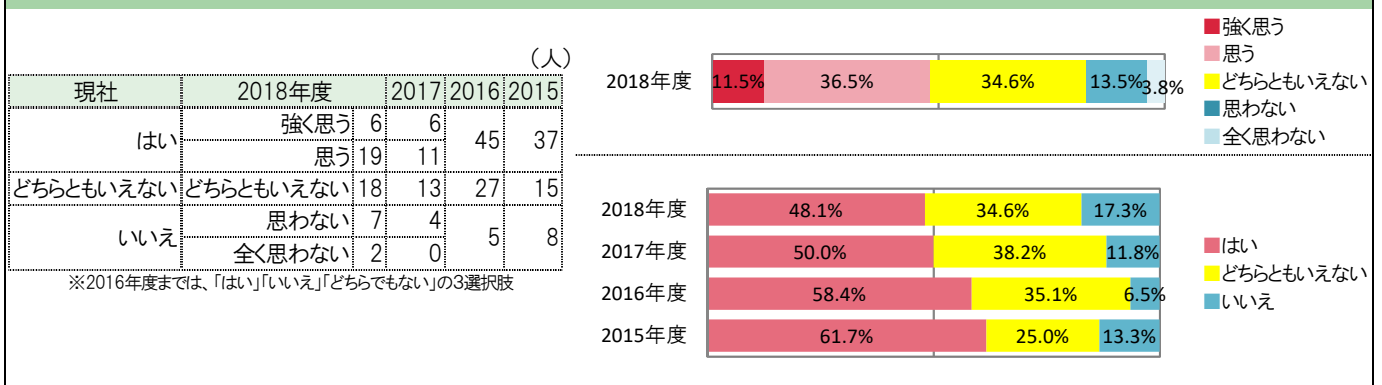


◇ 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？



※キャリア女性学副専攻修了者のみ回答

★キャリア女性学副専攻はキャリア設計に役に立ったと思う。





### 3. 人間社会学部 社会福祉学科

(回収率:98.9%)

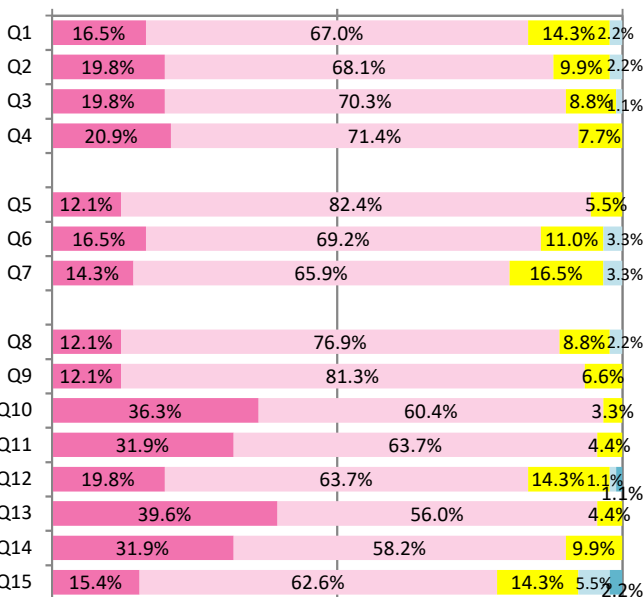
#### <身についたと思いますか>

<b>◆ 日本女子大学の学位授与方針(DP)</b>	
Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q3	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q4	他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
<b>◆ 人間社会学部の学位授与方針(DP)</b>	
Q5	人間と社会、及び両者の関わりについて様々な視点から考察することができる。
Q6	人々と実践的に関わり合いながら、専門的知識を踏まえてものごとを見ることことができる。
Q7	地域社会の問題から世界の問題まで、広い視野に立って考察し、具体的な解決を引きだすことができる。
<b>◆ 社会福祉学科の学位授与方針(DP)</b>	
Q8	生活上の諸問題、社会福祉の基本的な構造や機能、人間行動や社会システムとの関係性について理解し、社会問題の解決に向けた実践に生かすことができる。
Q9	人々の生活上の諸問題について、社会構造的要因分析の視点を持つことができる。
Q10	多様な価値観を受け入れ、共生社会を構築するための寛容性を身に付け、そうした社会づくりに向け、他者と協働しながら思考することができる。
Q11	社会のあらゆる生活問題に関心を持つことができる。
Q12	人権と社会正義の原理に基づいた援助観を身に付け、行動できる。
Q13	他者に対する共感的態度を持つことができる。
Q14	他者と協働して課題に取り組むことができる。
Q15	援助者(ソーシャルワーカー)としての基本的技能や価値・倫理を身に付け、実践することができる。

(人)

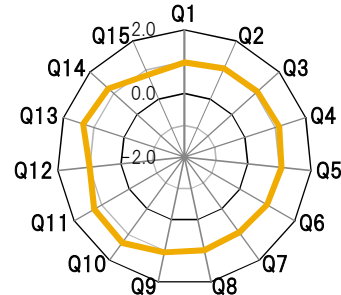
2018年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15
強く思う	15	18	18	19	11	15	13	11	11	33	29	18	36	29	14
思う	61	62	64	65	75	63	60	70	74	55	58	58	51	53	57
どちらともいえない	13	9	8	7	5	10	15	8	6	3	4	13	4	9	13
思わない	2	2	1	0	0	3	3	2	0	0	0	1	0	0	5
全く思わない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■ 強く思う ■ 思う ■ どちらともいえない ■ 思わない ■ 無回答



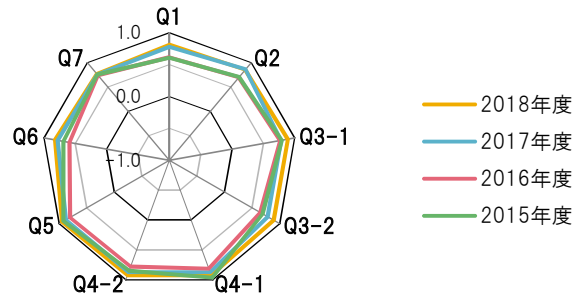
#### 2018年度社会福祉学科平均

※「強く思う」を2点、「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」を-1点、「全く思わない」を-2点とした平均値(「無回答」は集計から除外)

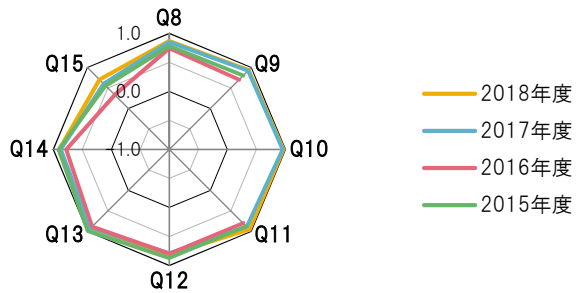


※「強く思う」「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」「全く思わない」を-1点とした平均値(「無回答」は集計から除外)

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢  
日本女子大学DP(1~4)・人間社会学部DP(5~7)



#### 社会福祉学科DP(8~15)

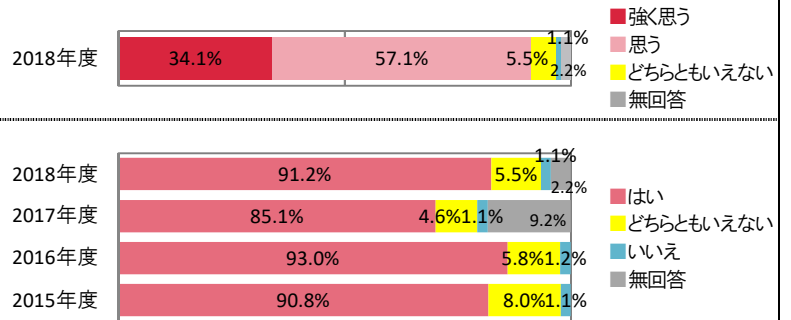


グラフ	2016年度まで	Q	2017年度より
Q8	生活上の諸問題、社会福祉の基本的な構造や機能、人間行動や社会システムとの関係性について理解できるようになる。	Q8	生活上の諸問題、社会福祉の基本的な構造や機能、人間行動や社会システムとの関係性について理解し、社会問題の解決に向けた実践に生かすことができる。
Q9	人々の生活上の問題について、社会構造的な要因分析の視点を持つことができる。	Q9	人々の生活上の諸問題について、社会構造的な要因分析の視点を持つことができる。
Q10		Q10	多様な価値観を受け入れ、共生社会を構築するための寛容性を身に付け、そうした社会づくりに向け、他者と協働しながら思考することができる。
Q11	社会のあらゆる生活問題に関心を持つことができる。人権と社会正義の原理に基づいた援助観を身に付けている。	Q11	社会のあらゆる生活問題に関心を持つことができる。
Q12	社会のあらゆる生活問題に関心を持つことができる。人権と社会正義の原理に基づいた援助観を身に付けている。	Q12	人権と社会正義の原理に基づいた援助観を身に付け、行動できる。
Q13	他者に対する共感的態度を持つことができる。	Q13	他者に対する共感的態度を持つことができる。
Q14	他者と協働して課題に取り組むことができる。	Q14	他者と協働して課題に取り組むことができる。
Q15	援助者(ソーシャルワーカー)としての基本的技能や価値・倫理を身に付けている。	Q15	援助者(ソーシャルワーカー)としての基本的技能や価値・倫理を身に付け、実践することができる。

◇ 日本女子大学で学んで良かったと思いますか？

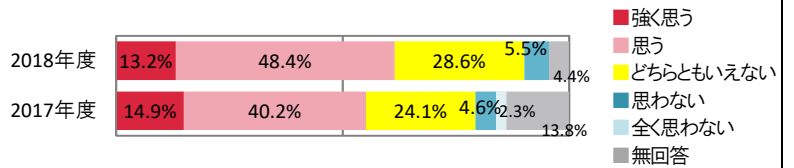
社福	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	
はい	強く思う	31	25	80	79
	思う	52	49		
どちらともいえない	どちらともいえない	5	4	5	7
	思わない	1	0	1	1
いいえ	全く思わない	0	1		
	無回答	2	8	0	0

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢



◇ 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？

社福	2018年度	2017年度
強く思う	12	13
思う	44	35
どちらともいえない	26	21
思わない	5	4
全く思わない	0	2
無回答	4	12

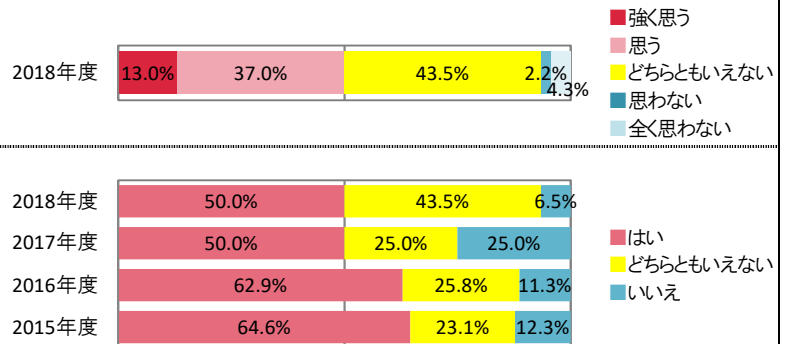


※キャリア女性学副専攻修了者のみ回答

★キャリア女性学副専攻はキャリア設計に役に立ったと思う。

社福	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	
はい	強く思う	6	5	39	42
	思う	17	15		
どちらともいえない	どちらともいえない	20	10	16	15
	思わない	1	6	7	8
いいえ	全く思わない	2	4		

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢



### 4. 人間社会学部 教育学科

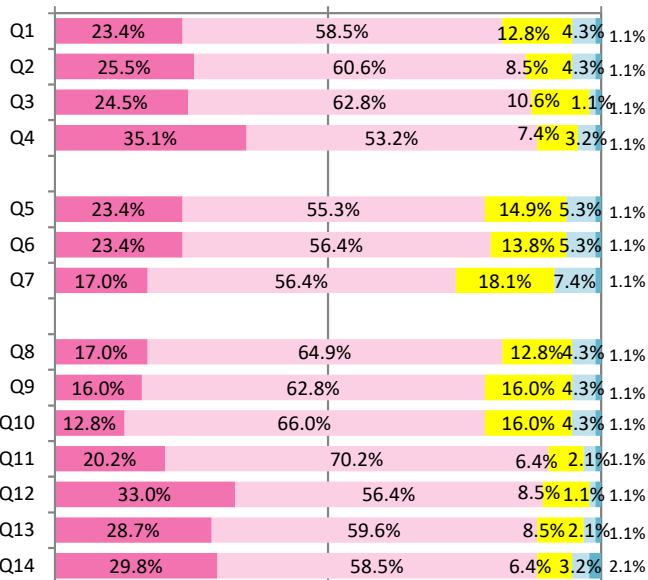
(回収率:96.9%)

#### <身についたと思いますか>

<b>◆ 日本女子大学の学位授与方針(DP)</b>	
Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q3	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q4	他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
<b>◆ 人間社会学部の学位授与方針(DP)</b>	
Q5	人間と社会、及び両者の関わりについて様々な視点から考察することができる。
Q6	人々と実践的に関わり合いながら、専門的知識を踏まえてものごとを見ることができる。
Q7	地域社会の問題から世界の問題まで、広い視野に立って考察し、具体的な解決を引きだすことができる。
<b>◆ 教育学科の学位授与方針(DP)</b>	
Q8	教育に関する哲学、歴史学、社会学、心理学の各理論と方法論を学び、教育学的な知識及び視点を修得している。
Q9	教育に関わる事象や問題について、教育学的な視点及び方法論を活用して、分析的かつ統合的に理解することができる。
Q10	教育に関わる事象や諸問題の背景やメカニズムについて教育学的な観点や方法論を用いて分析・考察することができる。
Q11	教育実践に関わる諸問題に対して、教育学的知識に基づきながら解決の方向性を探究し、幅広い視野に立って判断を行うことができる。
Q12	現代の教育問題に専門的な視点からの関心を持つと同時に、真摯に向き合う意欲を有している。
Q13	自発的・能動的に学修を進め、生涯にわたり自己を高めて社会に貢献していくとする意欲や態度を有している。
Q14	人が育つ、人を育てるという教育的営みに必要な相互対話的コミュニケーションを行うための技能と表現力を修得している。

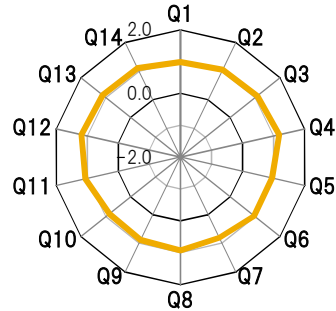
2018年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
強く思う	22	24	23	33	22	22	16	16	15	12	19	31	27	28
思う	55	57	59	50	52	53	53	61	59	62	66	53	56	55
どちらともいえない	12	8	10	7	14	13	17	12	15	15	6	8	8	6
思わない	4	4	1	3	5	5	7	4	4	4	2	1	2	3
全く思わない	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■ 強く思う
 ■ 思う
 ■ どちらともいえない
 ■ 思わない
 ■ 全く思わない
 ■ 無回答



#### 2018年度教育学科平均

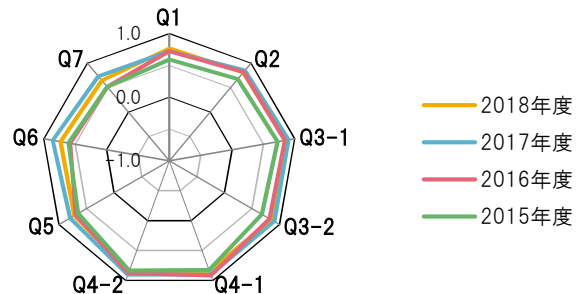
※「強く思う」を2点、「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」を-1点、「全く思わない」を-2点とした平均値（「無回答」は集計から除外）



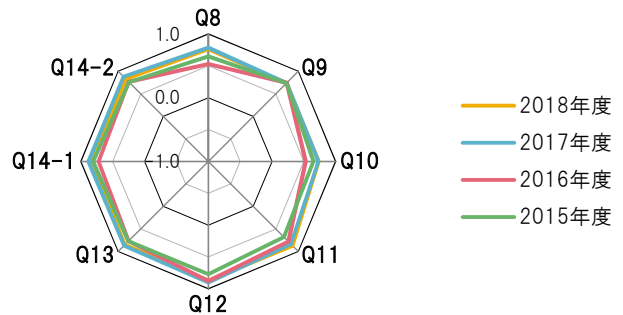
※「強く思う」「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」「全く思わない」を-1点とした平均値（「無回答」は集計から除外）

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

#### 日本女子大学DP(1~4)・人間社会学部DP(5~7)



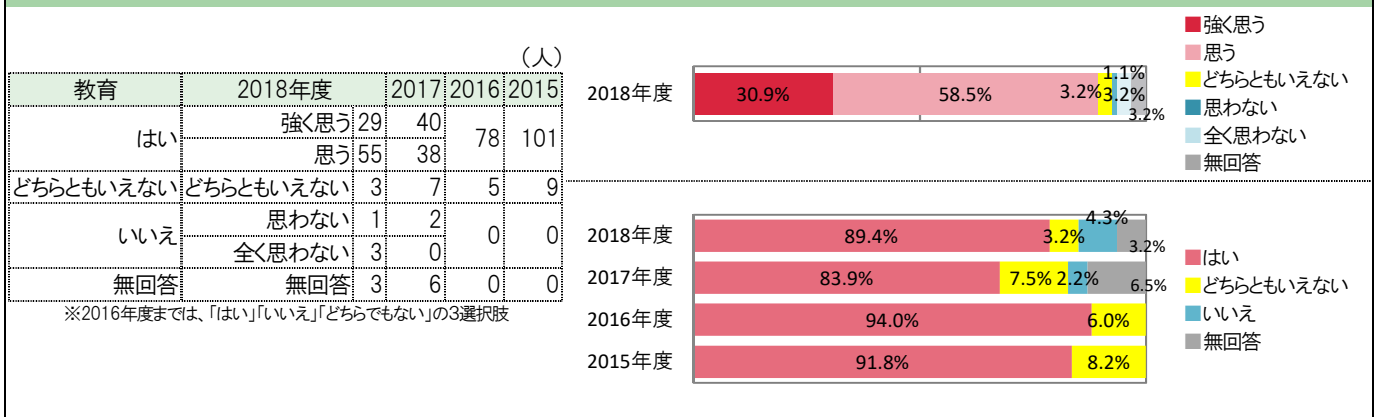
#### 教育学科DP(8~14)



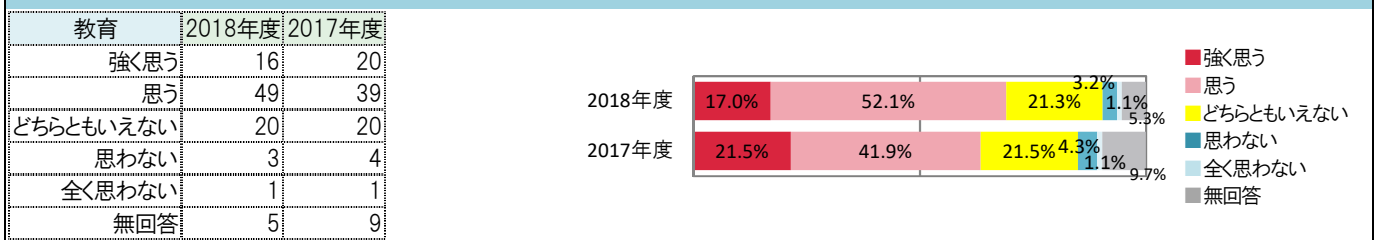
グラフ	2016年度まで	Q	2017年度より
Q8	教育に関する様々な事象について、哲学・歴史学・社会学・心理学などの方法論を用いて分析することができる。	Q8	教育に関する哲学、歴史学、社会学、心理学の各理論と方法論を学び、教育学的な知識及び視点を修得している。
Q9	人間と社会、及び両者の関わりについて、教育学的な観点から考察することができる。	Q9	教育に関わる事象や問題について、教育学的な視点及び方法論を活用して、分析的かつ統合的に理解することができる。
Q10	教育に関する様々な事象について、哲学・歴史学・社会学・心理学などの方法論を用いて分析することができる。	Q10	教育に関わる事象や諸問題の背景やメカニズムについて教育学的な観点や方法論を用いて分析・考察することができる。
Q11	教育に関する様々な事象について、抽象と具体の両面から思考を深め、幅広い視野に立って適切な判断を行うことができる。	Q11	教育実践に関わる諸問題に対して、教育的知識に基づきながら解決の方向性を探究し、幅広い視野に立って判断を行うことができる。
Q12	現代の教育問題に真摯に向き合う意欲や、専門的な視点からの関心を持つことができる。	Q12	現代の教育問題に専門的な視点からの関心を持つと同時に、真摯に向き合う意欲を有している。
Q13	生涯にわたり、自発的に学習を進めることができる。	Q13	自発的・能動的に学修を進め、生涯にわたり自己を高めて社会に貢献していくとする意欲や態度を有している。
Q14-1	人が育つ、人を育てるという営みを、様々な方法論を通じて学ぶことができる。	Q14	人が育つ、人を育てるという教育的営みに必要な相互対話的コミュニケーションを行うための技能と表現力を修得している。
Q14-2	人が育つ、人を育てるという営みを、様々な方法論を通じて学ぶことができる。	Q14	人が育つ、人を育てるという教育的営みに必要な相互対話的コミュニケーションを行うための技能と表現力を修得している。



◇ 日本女子大学で学んで良かったと思いますか？

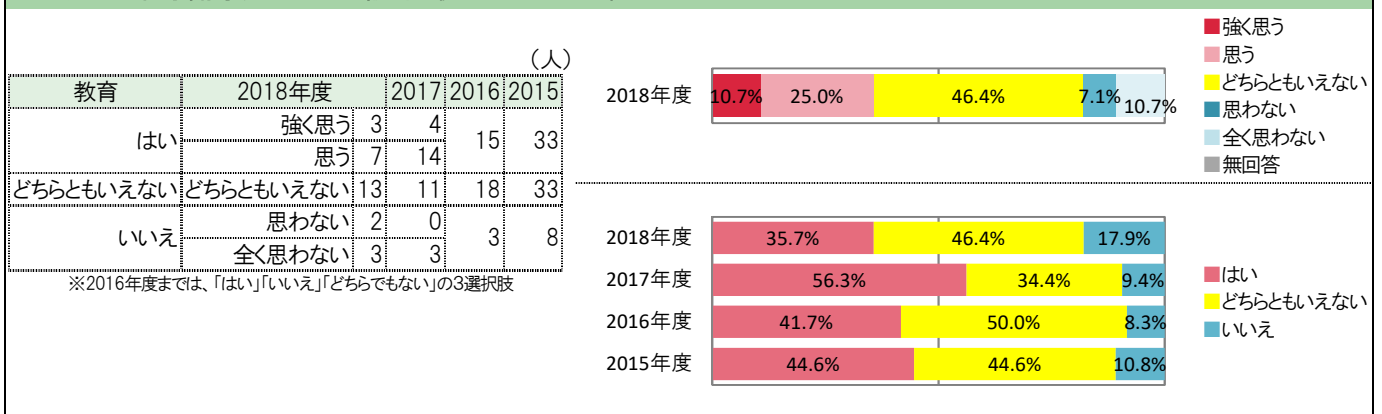


◇ 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？



※キャリア女性学副専攻修了者のみ回答

★キャリア女性学副専攻はキャリア設計に役に立ったと思う。



5. 人間社会学部 心理学科

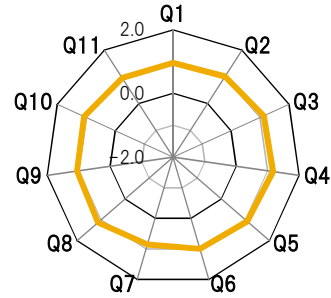
(回収率:101.3%)

<身についたと思いますか>

<b>◆ 日本女子大学の学位授与方針(DP)</b>	
Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q3	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q4	他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
<b>◆ 人間社会学部の学位授与方針(DP)</b>	
Q5	人間と社会、及び両者の関わりについて様々な視点から考察することができる。
Q6	人々と実践的に関わり合いながら、専門的知識を踏まえてものごとを見ることができる。
Q7	地域社会の問題から世界の問題まで、広い視野に立って考察し、具体的な解決を引きだすことができる。
<b>◆ 心理学科の学位授与方針(DP)</b>	
Q8	人間の心の働きとその仕組みを広く学び、それらが生物学的、個人的、社会・文化的諸要因の影響を受けていることを理解し、心に関わる現象を実証的な方法で探求していくことができる。
Q9	人間が示す心理学的現象の法則性を論理的に導き、その意味を、調査や実験に基づいて、生物学的、社会的な観点から洞察することができる。
Q10	心の働きと仕組みに関する基礎知識を基盤として、探究を深める意欲を持つとともに、多様な心的機制的の解明に関心を払って社会貢献に生かしていきたいという意欲を有する。
Q11	人間の普遍的な行動現象を解明できる解析能力とともに、多様な状況にある人々に対して、柔軟に対応できる基礎的技法と表現能力を有する。

2018年度心理学科平均

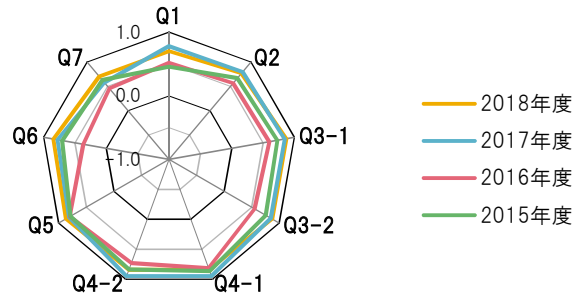
※「強く思う」を2点、「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」を-1点、「全く思わない」を-2点とした平均値（「無回答」は集計から除外）



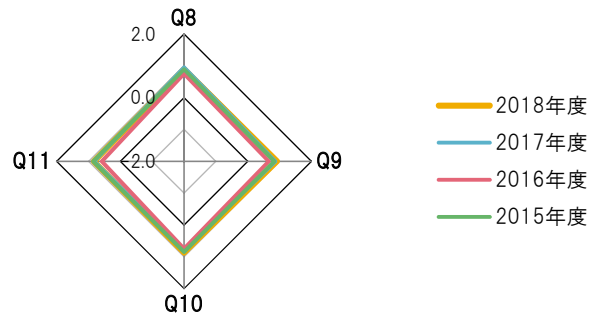
※「強く思う」「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」「全く思わない」を-1点とした平均値（「無回答」は集計から除外）

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

日本女子大学DP(1~4)・人間社会学部DP(5~7)

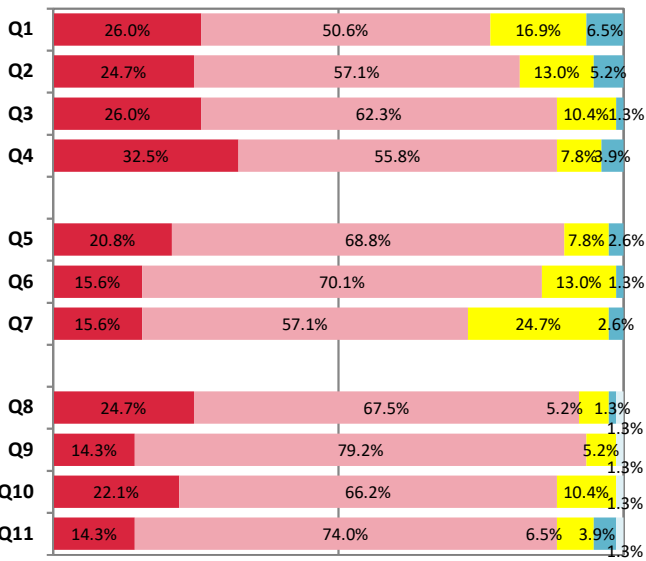


心理学科DP(8~11)



2018年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
強く思う	20	19	20	25	16	12	12	19	11	17	11
思う	39	44	48	43	53	54	44	52	61	51	57
どちらともいえない	13	10	8	6	6	10	19	4	4	8	5
思わない	5	4	3	2	1	2	1	0	0	0	3
全く思わない	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■ 強く思う ■ 思う ■ どちらともいえない  
■ 思わない ■ 全く思わない ■ 無回答

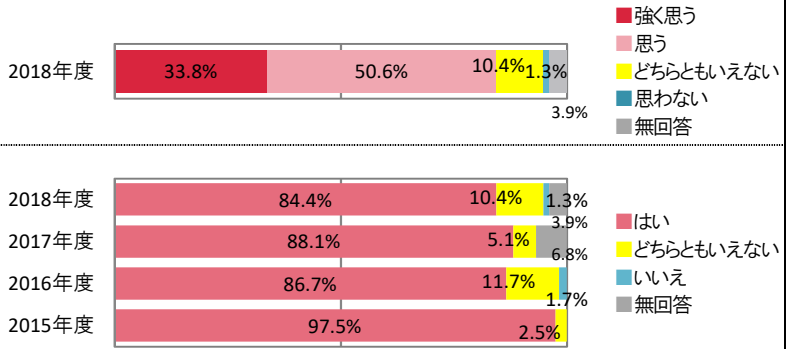


グラフ	2016年度まで	Q	2017年度より
Q8	ひとりの心の働きとその仕組みを広く学び、それらが生物学的、個人的、社会・文化的諸要因の影響を受けていることを理解し、心に関わる現象を実証的な方法で探求していくことができる。	Q8	人間の心の働きとその仕組みを広く学び、それらが生物学的、個人的、社会・文化的諸要因の影響を受けていることを理解し、心に関わる現象を実証的な方法で探求していくことができる。
Q9	ひとが示す心理学的現象の法則性を論理的に導き、その意味を、調査や実験に基づいて、生物学的、社会的な観点から洞察することができる。	Q9	人間が示す心理学的現象の法則性を論理的に導き、その意味を、調査や実験に基づいて、生物学的、社会的な観点から洞察することができる。
Q10	心の働きと仕組みに関する基礎知識を基盤として、探究を深める意欲を持ち、多様な心的機制的の解明にも関心を払って社会貢献に生かしていきたいという意欲を有する。	Q10	心の働きと仕組みに関する基礎知識を基盤として、探究を深める意欲を持つとともに、多様な心的機制的の解明に関心を払って社会貢献に生かしていきたいという意欲を有する。
Q11	ひとりの普遍的な行動現象を解明できる解析能力と共に、多様な状況にあるひとひとに対して、柔軟に対応できる基礎的技法と表現能力を有する。	Q11	人間の普遍的な行動現象を解明できる解析能力とともに、多様な状況にある人々に対して、柔軟に対応できる基礎的技法と表現能力を有する。

◇ 日本女子大学で学んで良かったと思いますか？

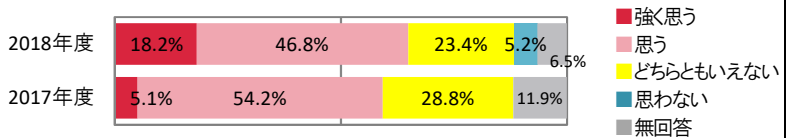
心理	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	
はい	強く思う	26	16	52	79
	思う	39	36		
どちらともいえない	どちらともいえない	8	3	7	2
	思わない	1	0	1	0
いいえ	全く思わない	0	0	1	0
	無回答	3	4	0	0

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢



◇ 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？

心理	2018年度	2017年度
強く思う	14	3
思う	36	32
どちらともいえない	18	17
思わない	4	0
全く思わない	0	0
無回答	5	7

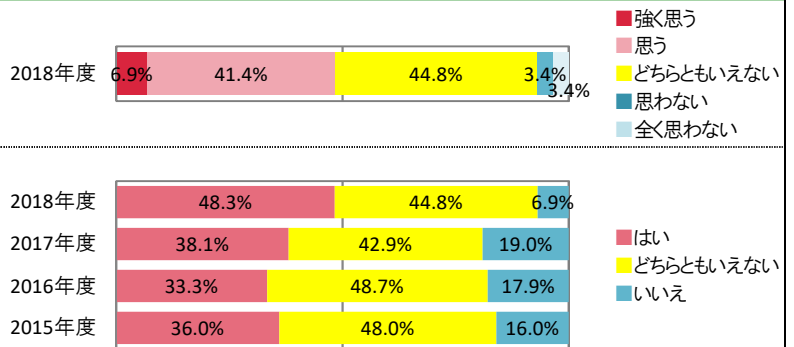


※キャリア女性学副専攻修了者のみ回答

★キャリア女性学副専攻はキャリア設計に役に立ったと思う。

心理	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	
はい	強く思う	2	1	13	18
	思う	12	7		
どちらともいえない	どちらともいえない	13	9	19	24
	思わない	1	2	7	8
いいえ	全く思わない	1	2		
	無回答				

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢



6. 人間社会学部 文化学科

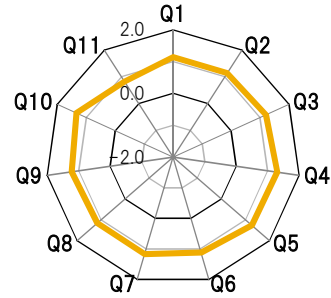
(回収率:64.6%)

<身についたと思いますか>

<b>◆ 日本女子大学の学位授与方針(DP)</b>	
Q1	建学の精神を理解し、ひとりの人間として、女性として、国際社会の一員として、自立することができる。
Q2	強い信念を持ち自らの人生を切り拓いていくことができる。
Q3	自ら新たな課題を発見し、専門的知識と教養教育により培われた知性と感性によって課題の解決に努めることができる。
Q4	他者に対する共感の気持ちを持ち、まわりの人々と円滑なコミュニケーションをはかって、共同でよりよい社会を築くことができる。
<b>◆ 人間社会学部の学位授与方針(DP)</b>	
Q5	人間と社会、及び両者の関わりについて様々な視点から考察することができる。
Q6	人々と実践的に関わり合いながら、専門的知識を踏まえてものごとを見ることことができる。
Q7	地域社会の問題から世界の問題まで、広い視野に立って考察し、具体的な解決を引きだすことができる。
<b>◆ 文化学科の学位授与方針(DP)</b>	
Q8	自他の文化に関する、その背景知をも含めた、奥行きのある専門的知識と幅広い教養を身に付けている。
Q9	自他の文化の多様性及び相互の関係性について、複眼的・論理的に判断するとともに、創造的に思考することができる。
Q10	多様な文化現象に対して柔軟な理解と共感を示し、常にそれらを学際的な視点から探究しようとする意欲を持っている。
Q11	文化研究を通してえられた認識の成果を論理的にまとめ、国際的な場においても発表することができる言語表現能力を持っている。

2018年度文化学科平均

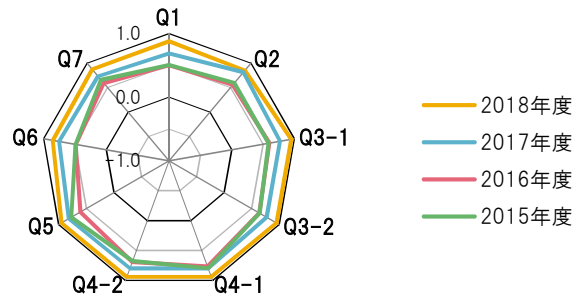
※「強く思う」を2点、「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」を-1点、「全く思わない」を-2点とした平均値（「無回答」は集計から除外）



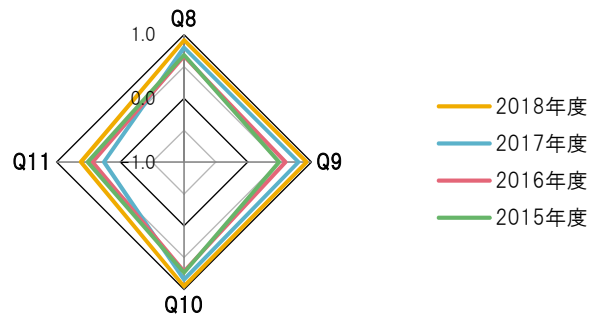
※「強く思う」「思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「思わない」「全く思わない」を-1点とした平均値（「無回答」は集計から除外）

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢

日本女子大学DP(1~4)・人間社会学部DP(5~7)

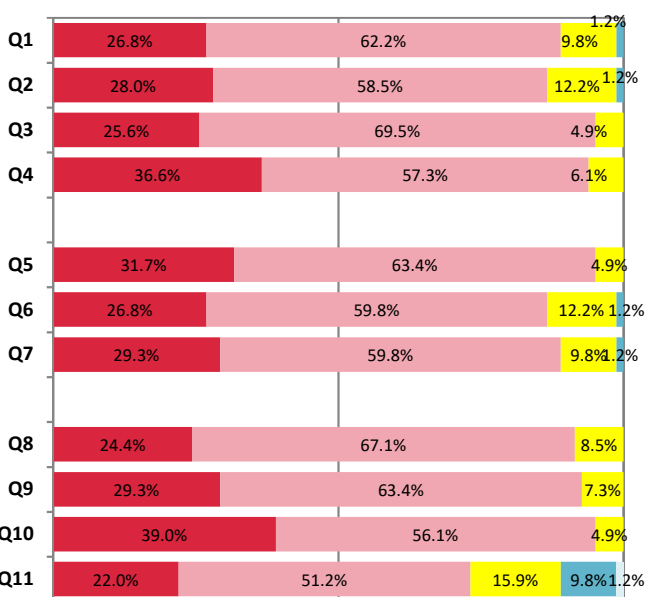


文化学科DP(8~11)



2018年度	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
強く思う	22	23	21	30	26	22	24	20	24	32	18
思う	51	48	57	47	52	49	49	55	52	46	42
どちらともいえない	8	10	4	5	4	10	8	7	6	4	13
思わない	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	8
全く思わない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■ 強く思う ■ 思う ■ どちらともいえない  
■ 思わない ■ 全く思わない



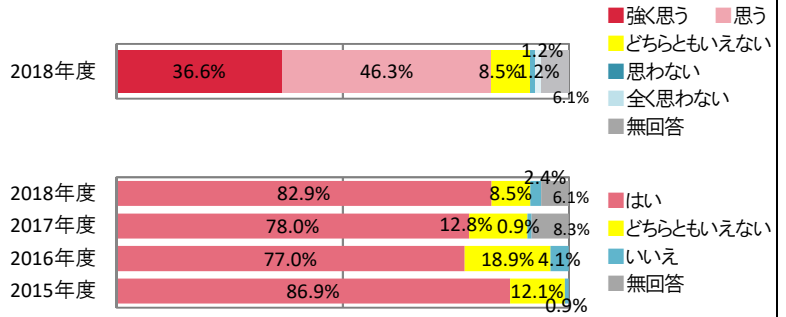
グラフ	2016年度まで	Q	2017年度より
Q8	自他の文化に関する、その背景知をも含めた、奥行きのある専門的知識と幅広い教養を身に付けている。	Q8	自他の文化に関する、その背景知をも含めた、奥行きのある専門的知識と幅広い教養を身に付けている。
Q9	自他の文化の多様性及び相互の関係性について、複眼的・論理的に判断するとともに、創造的に思考することができる。	Q9	自他の文化の多様性及び相互の関係性について、複眼的・論理的に判断するとともに、創造的に思考することができる。
Q10	多様な文化現象に対して柔軟な理解と共感を示し、常にそれらを学際的な視点から探究しようとする意欲を持っている。	Q10	多様な文化現象に対して柔軟な理解と共感を示し、常にそれらを学際的な視点から探究しようとする意欲を持っている。
Q11	文化研究を通してえられた認識の成果を論理的にまとめ、発表することができる言語表現能力を持っている。	Q11	文化研究を通してえられた認識の成果を論理的にまとめ、国際的な場においても発表することができる言語表現能力を持っている。



◇ 日本女子大学で学んで良かったと思いますか？

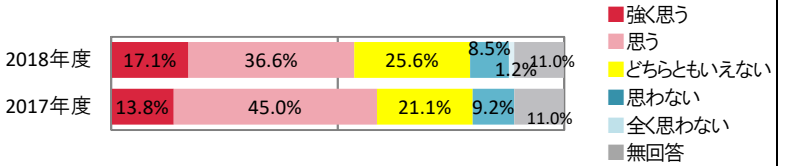
文化	2018年度	2017	2016	2015	
はい	強く思う	30	34	57	93
	思う	38	51	57	93
どちらともいえない	どちらともいえない	7	14	14	13
	思わない	1	1	3	1
いいえ	全く思わない	1	0	3	1
	無回答	5	9	0	0

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢



◇ 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？

文化	2018年度	2017年度
強く思う	14	15
思う	30	49
どちらともいえない	21	23
思わない	7	10
全く思わない	1	0
無回答	9	12

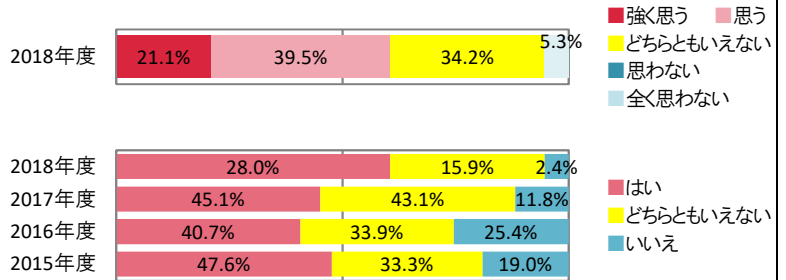


※キャリア女性学副専攻修了者のみ回答

★キャリア女性学副専攻はキャリア設計に役に立ったと思う。

文化	2018年度	2017	2016	2015	
はい	強く思う	8	23	24	40
	思う	15	22	24	40
どちらともいえない	どちらともいえない	13	6	20	28
	思わない	0	23	15	16
いいえ	全く思わない	2	22	15	16
	無回答	2	22	15	16

※2016年度までは、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3選択肢



※文化学科のみ回答

- ① 在学中に半年以上、英語圏の国に留学しましたか。
- ② 在学中に半年以上、英語圏以外の国に留学しましたか。
- ③ 在学中の夏季または春季の長期休暇中に、英語圏の国に短期留学しましたか。
- ④ 在学中の夏季または春季の長期休暇中に、英語圏以外の国に短期留学しましたか。
- ⑤ 在学中に語学留学以外で、半年～1年の海外長期研修(インターンシップ、ボランティア等)に参加しましたか。
- ⑥ 在学中に語学留学以外で、夏季または春季の長期休暇中に海外短期研修(インターンシップ、ボランティア等)に参加しましたか。

年度	2018	2017	2016	2015
はい	3	1	4	2
いいえ	56	75	70	97
無回答	23	33	0	8

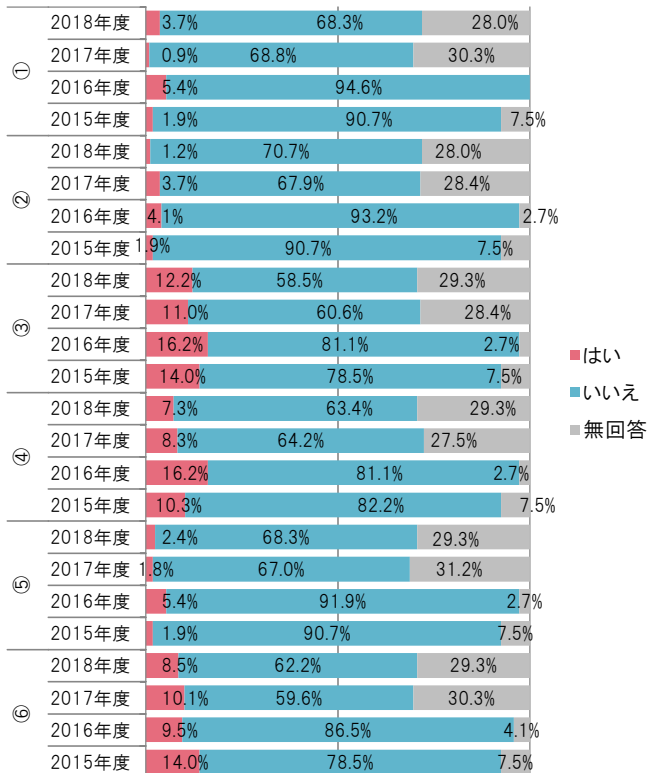
年度	2018	2017	2016	2015
はい	1	4	3	2
いいえ	58	74	69	97
無回答	23	31	2	8

年度	2018	2017	2016	2015
はい	10	12	12	15
いいえ	48	66	60	84
無回答	24	31	2	8

年度	2018	2017	2016	2015
はい	6	9	12	11
いいえ	52	70	60	88
無回答	24	30	2	8

年度	2018	2017	2016	2015
はい	2	2	4	2
いいえ	56	73	68	97
無回答	24	34	2	8

年度	2018	2017	2016	2015
はい	7	11	7	15
いいえ	51	65	64	84
無回答	24	33	3	8



以上<人間社会学部>